

**電子くじ判定の仕様について（将来的に使用する機能です）**

- (1) 入札書提出時、入札参加社は任意の3桁のくじ番号を入力します。
- (2) 入札書提出日時により、「付加値」を決定します。「付加値」は、入札書提出日時を1970年1月1日00:00:00GMT（グリニッジ標準時）からの経過時間をミリ秒単位で取得し、その数字の下6桁目から下4桁までの3桁を使用します。  
例：入札提出日時が平成19年（2007年）5月17日15:06:02の場合、1970年1月1日00:00:00GMTからの経過時間は1179381962000ミリ秒となり、その数字の下6桁目から下4桁までの3桁の「962」が付加値となります。
- (3) (1)で入力した「くじ番号」に(2)で付される「付加値」を加え、「決定くじ番号」を決定します。（和が4桁となる場合は、下3桁を決定くじ番号とします）  
**くじ番号 + 付加値 = 決定くじ番号**
- (4) 開札時の結果、最低価格の同札者がある場合、くじ対象社を抽出し、入札順位を決定します。（詳細は判定例をご確認ください）
- (5) くじ対象者（最低価格の同札者）の決定くじ番号をすべて加算し、その数字をくじ対象者数（同札者数）で割り、余りの数字を求めます。  
**最低金額の同札社の決定くじ番号の和 ÷ 最低金額の同札者数**
- (6) (4)で付した番号と(5)で求めた余りが一致する業者が落札者となります。

**電子くじ判定例**

(1)開札状況

A社、B社、C社、D社、E社、F社の6社が次のような入札を行ったとします。

入札参加者	入札金額	くじ番号	入札書受信日時	付加値	決定くじ番号	くじ対象
A社	5,000,000	343	H19.5.1 10:25:12	123	<b>466</b> =(343+123)	
B社	6,000,000	566	H19.5.1 13:12:25	355	<b>921</b> =(566+355)	
C社	5,000,000	887	H19.5.1 9:59:27	550	<b>437</b> =(887+550)	
D社	5,500,000	001	H19.5.1 15:47:00	409	<b>410</b> =(001+409)	
E社	5,000,000	909	H19.5.1 16:07:44	332	<b>241</b> =(909+332)	
F社	5,000,000	776	H19.5.1 11:00:12	005	<b>781</b> =(776+005)	

(2)くじ対象者の抽出と入札順位の割当

最低価格の4社（A社、C社、E社、F社）が「くじ対象者」となり、各者の入札順位は次のとおりとなります。（入札順位は、入札書提出日時の早い順番に設定されます）

入札参加者	入札書受信日時	入札順位
C社	H19.5.1 9:59:27	0
A社	H19.5.1 10:25:12	1
F社	H19.5.1 11:00:12	2
E社	H19.5.1 16:07:44	3

(3)落札者の決定

くじ対象者4社の決定くじ番号を足した数をくじ対象者数で割り、余りの数字を求めます。この場合、余りが1となりますので、入札順位が1であるA社が落札者となります。

入札参加者	入札順位	決定くじ番号	
C社	0	437	$(437 + 466 + 781 + 241) \div 4$ $= 481$ <b>余り1</b>
A社(落札)	1	466	
F社	2	781	
E社	3	241	